

集約対象施設の利活用を考える

ワークショップ

藤崎図書館グループ

発表者

佐藤由佳／鈴木崇寛／
古田莉香子／横堀翔／
小倉隆志／小倉華子／斎藤有夏

発表目次

1. 藤崎図書館の概要
2. 藤崎図書館の立地と地域の課題
3. 話し合ったこと紹介
4. 意見まとめ
5. 個人の感想



1. 藤崎図書館の概要

建物概要

- 1Fと2Fは消防署
- 3Fと4Fが藤崎図書館
延床面積：878㎡



1. 藤崎図書館の概要



2. 藤崎図書館の立地と地域の課題

- 立地とその問題点
- 地域の課題



立地とその問題点

- 駐車スペースが3台分・駐輪スペースが約10台分しかなく近場に駐車場がない。
- アクセスが悪い（京成バス有）
- 消防署と併設のため騒音問題がある
- 場所が分かりづらい

話し合いの中で出た地域の課題

- 親が安心して子供を行かせられる放課後の居場所づくり
- サークル活動などで市民同士がつながれる場所づくり
- 大学生と市民の交流創出

3.話し合ったこと紹介

- どのような使い方ができる？
- 誰のための施設？



ワークショップで出たアイデア

学習利用

子育て

活用
イメージ

図書機能

商業・販売

運営方法

学習利用

(小学生)

放課後児童会
勉強スペース
知的好奇心を刺激する場所

(一般・学生)

セミナースペース
グループワークスペース
ネット利用空間
自習スペース

図書機能

民間図書館
市立図書館との連携
電子書籍が読める
子供専用図書スペース

商業・販売

カフェ／ブックカフェ
産直マルシェ
美味しいものを置いている場所
サテライトオフィス
レンタルスペース
シェアスペース
企画講座開催
定期利用スペース(常時利用)

運営方法

夜もやっている
時間を区切ってフロア別で利用者層を分ける
休日は年末年始限定

子育て

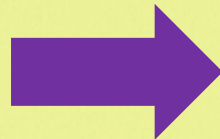
託児付きワークスペース
子育て支援・カウンセリング
保育スペース
読み聞かせができる空間
母親の交流スペース

イメージ

子どもが安全で楽しく過ごせる
思いっきり遊べる場所
親が子供に追われず活動できる
インターネット接続ができる
多世代交流が出来る場所
魅力ある場所

誰のための施設か？

- 未就学児
(親子)
- 児童
- 学生(中高大生)
- 大人
- シニア世代



利用者限定
しない、
多世代共生型
の施設

4. 意見のまとめ

- 跡利活用のコンセプト
- アイデアマップ
- 4つのポイント
 - ①多世代が利用できる
 - ②運営イメージ
 - ③気軽にふらっと立ち寄れる
 - ④3F・4Fのイメージ



跡利活用のコンセプト

誰でも

いつでも

気軽に

アイデアマップ

大人

企画講座

仕事終わりに利用
(夜間利用)

働いてる人

カフェ

主婦

産直マルシェ

託児スペース

育児相談

子育て支援

未就学児
(親子)

子どもの遊び

おやつ

からだを動かして
遊べる

絵本コーナー

シニア

電子書籍

本の取り寄せ

読書

図書館機能

児童

子ども向け
講座

学童

放課後利用

学習スペース

地域交流

学生
(中・高・大)

ボランティア

授業の一環

自習スペース

アイデアマップ

大人

企画講座

仕事終わりに利用
(夜間利用)

働いてる人

カフェ

主婦

託児スペース

産直マルシェ

育児相談

子育て支援

未就学児
(親子)

子どもの遊び

おやつ

からだを動かして
遊べる

絵本コーナー

児童

子ども向け
講座

学童

放課後利用

学習スペース

地域交流

学生
(中・高・大)

ボランティア

授業の一環

自習スペース

電子書籍

本の取り寄せ

読書

図書館機能

シニア

①多世代が利用できる

未就学児(と親)

- 小さい子供の遊び場
- おやつが食べられる
- 育児相談

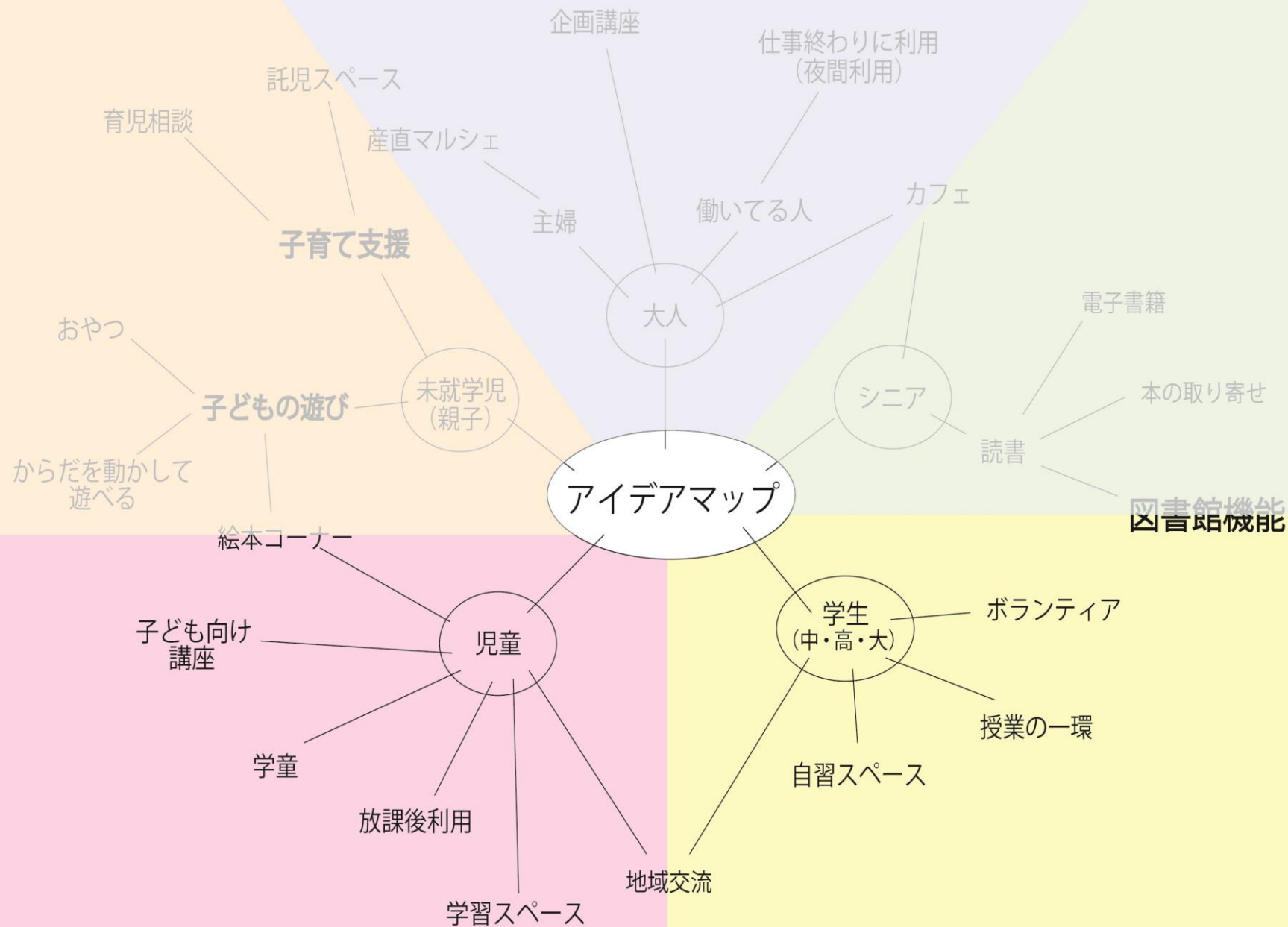
児童(低学年)

- 放課後のあそび場
- 読書



絵本コーナー等の利用

アイデアマップ



①多世代が利用できる

児童
(高学年)

- 放課後の居場所
- 学習スペース

学生
(中高大)

- 受付や運営ボランティアとして参加
- 授業の一環での利用
- 自習スペース



児童と学生の交流ができる

アイデアマップ

大人

企画講座

仕事終わりに利用
(夜間利用)

働いてる人

カフェ

主婦

託児スペース

産直マルシェ

育児相談

子育て支援

未就学児
(親子)

子どもの遊び

おやつ

からだを動かして
遊べる

絵本コーナー

シニア

電子書籍

本の取り寄せ

読書

図書館機能

児童

子ども向け
講座

学童

放課後利用

学習スペース

地域交流

学生
(中・高・大)

ボランティア

授業の一環

自習スペース

①多世代が利用できる

大人

- 企画講座、サークル活動
- 産直マルシェで
ちょっとした買い物

シニア
世代

- 座って読書ができる
- カフェのように利用



図書カウンターの利用
(基本、蔵書持たない)

②運営イメージ

- 開館時間を朝から夜までにする
- 時間帯(朝～夜)に応じて利用者が変わる
乳幼児連れ(午前中)→小学生(放課後～)
→中高生・大学生(夕方～夜)→社会人(夜)
※シニア世代は終日

②運営イメージ

- 大学生の受付ボランティア
- 授業の一環で運営に参加
- 運営に携わることでポイントがつく制度などを導入

③気軽にふらっと立ち寄れる

＝ 多機能施設

- オープンな雰囲気
- 限られた人ではなく、誰でも利用できる
- 予約利用部分と予約なし利用部分がある

④フロアのゾーニング

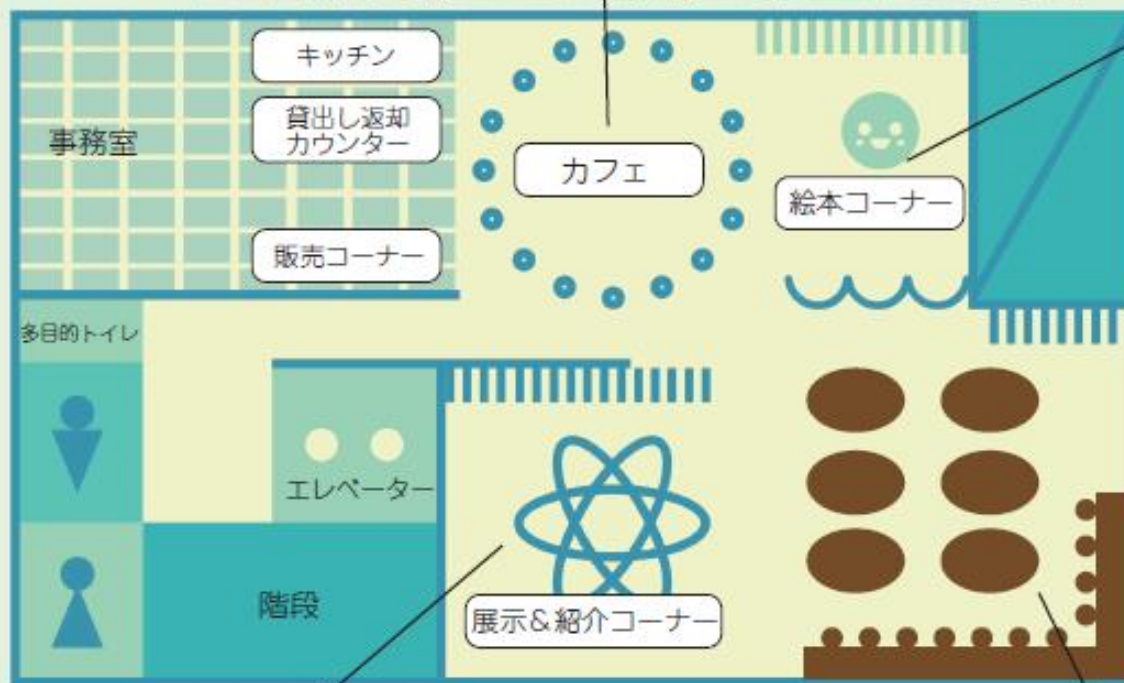
- 3Fフロアはゾーニングをすることで、多機能なスペースとする
- 4Fフロアはレンタルスペースとして活用

※今回は主に3Fのゾーニングを考案

3階イメージ図



軽食やおやつ、身体にやさしい年齢問わずほっと出来るカフェ。近隣の農家さんの野菜を使用&販売。



小さい子どもが絵本を読んだりのんびり遊べるコーナー。ゆるやかな仕切りで見守れる。



読書や新聞を読んだり、勉強したり、落ち着いてゆっくりすごせるスペース。



季節や講座に関連した市内蔵書などを用いた本棚作りをして、常に新鮮な出会いのある場所。子どもも大人も、わくわくして来館が楽しみになる仕掛けをつくる。

4Fイメージ



← 引用:三条市のシェアスペース
「燕三条トライク」



引用:横浜市のシェアスペース →
「BUKATSUDO」

5. 個人の感想(学生)

様々な立場の人が集まり、多面的に意見を出し合えたことがとても良かった。公共施設の再編をネガティブに考えるのではなく、市民一人一人が可能性を見出していくことの大切さを学んだ。

(佐藤由佳)

ワークショップに参加して、市民の方々の熱い気持ちを知り、驚きと感心の念でいっぱいになった。市民の意見はもっと反映されるべきであると思う一方で、市の方々のさまざまな苦勞も垣間見えた。

(古田莉香子)

行政からの視点と地域の人々の視点の両方に触れ、双方の意見の違い等を知ることができいい経験となった。今後どのような結末を迎えるのか気になるワークショップだった。

(横堀翔)

5. 個人の感想(市民)

話し合いが進むうちに難しく感じるようになった。もう数回ワークショップがあると良かった。三大学の学生がワークショップに携わってくれたことに感謝している。

(斎藤有夏)

習志野市の未来に少し希望を持つことができた。ワークショップ参加を機にイベントなどにも参加してみることで、習志野市の魅力・強みを再発見し、良さを見直せた。

(小倉隆志)

習志野市で暮らして8年、生活が様々に変化する中で不満も抱えてきたが、今回のワークショップを通して行政任せでなく、自ら積極的に参加することで、希望が見えてきた。

(小倉華子)

ご清聴ありがとうございました。
ございました。

発表者

佐藤由佳／鈴木崇寛／
古田莉香子／横堀翔／
小倉隆志／小倉華子／斎藤有夏